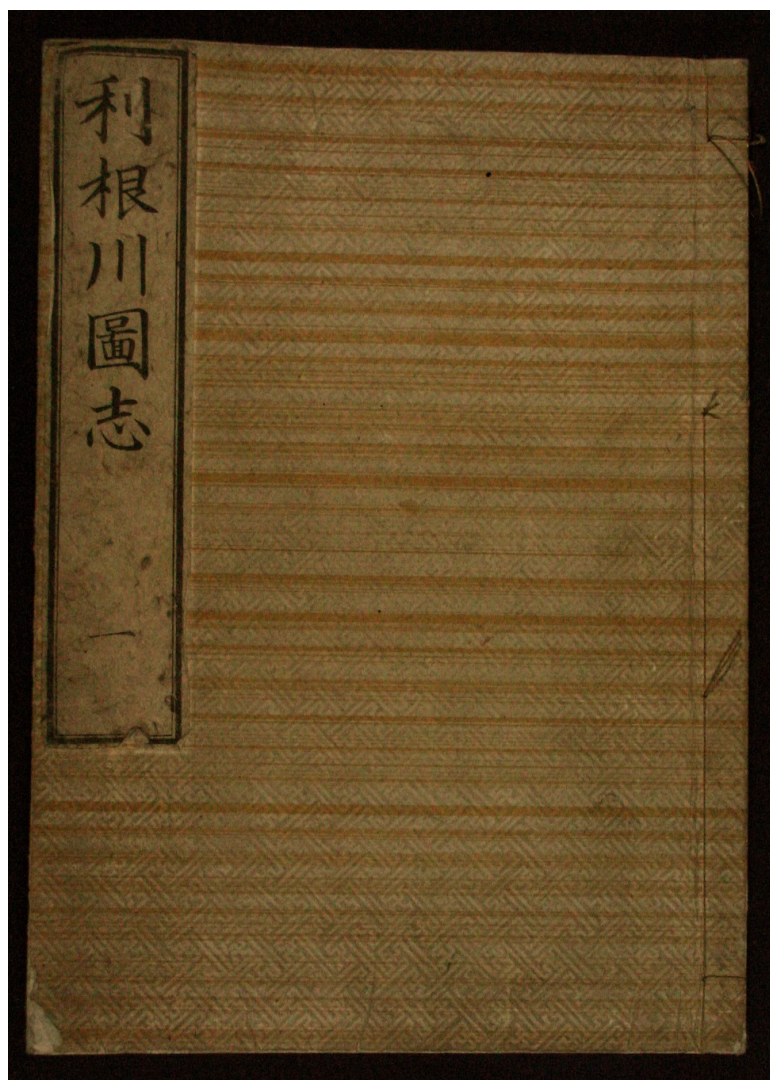


我孫子市民図書館
杉村楚人冠記念館

共催 第20回楚人冠講座

楚人冠の本棚より

— 柳田国男と小泉八雲 —



楚人冠や柳田国男が読んだ『利根川図志』

◆楚人冠と柳田国男の関係、また、
楚人冠が読んだ小泉八雲の作品など
について、記念館学芸員が解説します。

令和8年11月14日（土）10時～11時
生涯学習センターアビスタ 第二学習室
参加無料 定員30人（要予約・先着順）

★予約 10月16日（金）9時30分～前日まで

我孫子市民図書館アビスタ本館（☎04-7184-1110）

内容の問い合わせ 杉村楚人冠記念館（☎04-7187-1131）

※講座後、学芸員による秋季企画展ガイド（1時間程度）を
開催します（予約不要・希望者のみ、要入館料300円）。

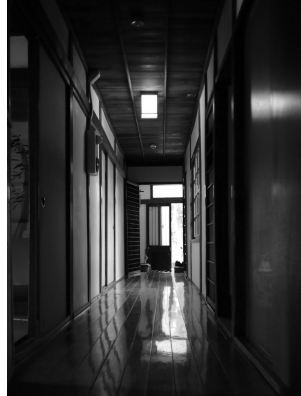
すぎむらそじんかん

杉村楚人冠の邸宅～古きよき大正から昭和が息づく家

杉村楚人冠は明治45(1912)年、当地に別荘を設け、大正13(1924)年には一家でここに移住し、亡くなるまで過ごしました。ここで執筆した随筆「湖畔吟」^{こはんぎん}には、我孫子の風景と人々の姿が生き生きと描かれています。邸宅の中心である和洋折衷式の母屋は、建築家下田菊太郎の設計で、茶室・蔵・澤の家と合わせ杉村楚人冠記念館を構成しています（我孫子市指定文化財）。現在残る邸宅敷地面積は約5,200㎡ですが、邸内には杉村楚人冠が植えた椿、梅、芭蕉のほか、彼が作った井戸や池、離れの風呂跡の貯水槽が残っており、大正から昭和にかけての文人の邸宅のたたずまいを残しています。



夥しい書籍が印象的な応接室「サロン」



玄関と台所を結ぶ「中廊下」



数々の名随筆が生み出された「書斎」

母屋の内部



園内の様子



現在の杉村楚人冠邸園



庭を散歩する楚人冠

我孫子市杉村楚人冠記念館

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館午後4時まで）

休館日：月曜日（月曜が休日の場合、直後の平日）

入館料：一般300円／高校・大学生200円 中学生以下無料

団体20名以上2割引 障がい者免除あり

3館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限1か月）

一般500円／高校・大学生400円

2館共通年間パスポート（白樺文学館共通、1年間入館可、特典あり）

一般2,000円

交通手段 JR常磐線・成田線我孫子駅下車 南口より徒歩9分

阪東バス 緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車 徒歩5分

駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。



住所：我孫子市緑2-5-5